

門番小移進。寺中にて將軍家。今日粉骨碎身して忠義か。奥村赤野の勇士。小内藤山縣と漸次小畠を當度の恩賞を賜。又が郊野彌七舟ハ戰死せしとて。こきと懇切小義。りを稱も山陵を傍ら。ことの神室とをさへらむに。行中重活進出。まほしひ徳を還び。再び謀伐を加へなんと。一の謀を歎ト。又が野村を意とす。傷のみを國の日勝よし奉。周囲をとりひも果を坐地。不曲徳の陣小列。と好日向守。同ト野下小對面。敵へやう。小糸ふり。二好家當寺の相敵と。す。敵あう。す家當寺。今更糸密る小壁。絶えと急不攻。争ひ。於軍家船。て。す。すを放た。その隙。小却自害せら。す。敵も首を立。船載影小遣。當寺をも。大伽藍。忽ち所檻とあはぬ。お寺の萬とおがし石。御陣をもに。御邊あり。緩ぎ。ほし玉をも。挫信方便の言を。す。す。縛とも。と。

り。而して將軍家を勤め。まも。他所へ移る。まるらせんと。謂ふ。二人衆實ふも。と曰。心中少く將軍家の出世と窺ひ。遂車小て。裸て。うひも。らせんと。上人の糸を。不隨ひ。惣軍攻口を寛げ。七條道場。時宗家まで退ひ。の瀧魚。す。す。縛とも。と。

木ト奇多烈敗。之好大軍。屬信長軍。致

詔小謂。御歎疾。とく。お。胸を心自ら情を。と好。二人衆の個へた。右かく。竹中。小款。と。七條道場まで退ひ。富小河内國。若江の城主。と好。た。京を。又。義繼。之が領主。と。山代。候。小礼妨せら。まの。を。から。を。家原の城を。奪ひ。と。事。嘗。輕小徹。と。遺恨。う。と。バ。機列。候者。と。を。伊丹。池田。と。一隊。小船。四日の。金朝。江と。お。祭。瓶川。と。傍を。取。小高櫻城の入。左近。す。す。脛。心。す。と。と。好。小。一。嘴。と。と。好。多。床。を。紹。と。と。多く。付。西徳。と。引。宿。と。と。